

**問題 41** 20歳の女性。2週前から38℃台の発熱、両膝と両手の関節痛が持続し、抗菌薬投与でも下熱せず、頬部に対称性の発疹が出現してきた。また、以前から日光に当たると全身に発疹が出ることがあり、直射日光は避けている。

考えられる疾患はどれか。

1. 細菌性肺炎
2. 結核
3. リウマチ熱
4. 全身性エリテマトーデス

**問題 42** 正しい組合せはどれか。

1. パーキンソン(Parkinson)病 ————— 顔面筋麻痺
2. 重症筋無力症 ————— 眼瞼下垂
3. 筋萎縮性側索硬化症 ————— 外眼筋麻痺
4. 多発性硬化症 ————— 眼球突出

**問題 43** 後天性免疫不全症候群(AIDS)について誤っているのはどれか。

1. HIVウイルスによって感染する。
2. 飛沫感染を起こす。
3. CD4リンパ球の機能を低下させる。
4. 日和見感染を起こす。

**問題 44** 热傷の重症度判定に有用でないのはどれか。

1. 年齢
2. 性別
3. 范囲
4. 深度

問題 45 腺癌はどれか。

1. 舌 癌
2. 腎 癌
3. 大腸癌
4. 皮膚癌

問題 46 麻酔に使用しないのはどれか。

1. 酸 素
2. 笑 気
3. メタンガス
4. エーテル

問題 47 同系移植で正しいのはどれか。

1. 同一個体内
2. 一卵性双生児間
3. ヒト対ヒト
4. ヒト対チンパンジー

問題 48 救急蘇生術の ABC で誤っているのはどれか。

1. 気道確保
2. 人工呼吸
3. 強心剤投与
4. 心臓マッサージ

**問題 49** 自動体外式除細動器(AED)の使用上誤っているのはどれか。

1. 使用されている AED が医療用具として薬事法上の承認を得ている。
2. 放電ボタンを押すとき、対象者から離れなければならない。
3. 使用者は医師か訓練を受けた看護師に限られる。
4. 使用者が対象者の意識がないことを確認している。

**問題 50** 74歳の男性。階段で転落し頭部打撲。受傷時、神経学的検査、頭部 CT 検査で異常所見を認めなかつたが、2か月後歩行がふらつき、尿失禁がみられた。

考えられる病態はどれか。

1. 慢性硬膜下血腫
2. 脳挫傷
3. クモ膜下出血
4. 急性硬膜外血腫

**問題 51** 交通事故による多発外傷で誤っている組合せはどれか。

1. 血気胸 ————— 胸腔ドレナージ
2. 腹腔内出血 ————— 開腹止血
3. 脊椎損傷 ————— 脊柱固定
4. 硬膜外血腫 ————— クリッピング

**問題 52** 脳死判定基準として誤っているのはどれか。

1. 深昏睡
2. 自発呼吸消失
3. 瞳孔縮小
4. 平坦脳波

**問題 53** ジャクソン(Jackson)型痙攣発作と関係するのはどれか。

1. 心筋梗塞
2. 頭部打撲
3. 腰椎損傷
4. 低血糖

**問題 54** 腹腔内遊離ガス像を認めるのはどれか。

1. 腸閉塞
2. 消化管穿孔
3. 脾損傷
4. 肝損傷

**問題 55** 軟骨無形成症について正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 骨端の異常である。
2. 常染色体優性遺伝である。
3. 体幹短縮型小人症である。
4. O脚変形を伴う。

**問題 56** マルファン(Marfan)症候群で誤っているのはどれか。

1. 高身長
2. くも指
3. 常染色体劣性遺伝
4. 心奇形

問題 57 結核性脊椎炎で誤っているのはどれか。

1. 安静時痛
2. 脊髓麻痺
3. 腸骨窓膿瘍
4. 脊椎不撓性

問題 58 関節リウマチで正しいのはどれか。

1. 足の指関節炎はまれである。
2. 脊椎の障害は生じない。
3. リウマチ反応陰性であれば関節リウマチでない。
4. 関節液の粘性は低下する。

問題 59 正しい組合せはどれか。2つ選べ。

1. ヘバーデン(Heberden)結節 ————— 手の近位指節間(PIP)関節
2. 痛風性関節炎 ————— 足の母指指節間(IP)関節
3. 関節リウマチ ————— 手関節
4. マレット・フィンガー ————— 手の遠位指節間(DIP)関節

**問題 60** 52歳の男性。高校教師。既往歴に特記すべきことはない。毎日タバコを20本と晩酌に2合の酒を30年続けている。3か月前から歩行時に左股関節から大腿にかけて、刺すような痛みがあった。2～3週間隔で疼痛緩解を繰り返すので心配になり、整形外科を受診した。MRI(別冊No. 1)を別に示す。

考えられる疾患はどれか。

1. 大腿骨頭疲労骨折
2. 大腿骨頭骨髄腫
3. 大腿骨頭すべり症
4. 大腿骨頭壊死症

別冊 No. 1

写真

**問題 61** 好発年齢で誤っているのはどれか。

1. 骨肉腫 —————— 10歳代
2. 巨細胞腫 —————— 30歳代
3. 良性骨芽細胞腫 —————— 5歳以下
4. 多発性骨髄腫 —————— 50歳以上

**問題 62** 骨悪性線維性組織球腫の前駆病変はどれか。2つ選べ。

1. パジェット(Paget)病
2. 骨軟骨腫
3. オリエール(Ollier)病
4. 線維性骨異形成症

問題 63 内分泌異常疾患で誤っている組合せはどれか。

1. 先端巨大症 ————— 成長ホルモン過剰産生
2. 過剰化骨形成 ————— グルココルチコイド過剰産生
3. 副甲状腺線腫 ————— 歯槽硬線消失
4. 脳下垂体小人症 ————— 骨端線早期閉鎖

問題 64 脊髄手術の適応となるのはどれか。

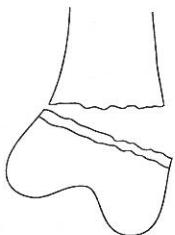
1. 脊髄瘻
2. 脊髄空洞症
3. 筋萎縮性側索硬化症
4. 神経性進行性筋萎縮症

問題 65 フォルクマン(Volkmann)拘縮の 5 主徴でないのはどれか。

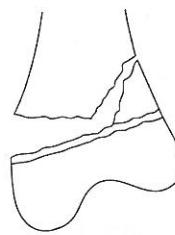
1. 脈拍触知不能
2. 発 赤
3. 激 痛
4. 感覚障害

問題 66 ソルター・ハリスの分類で、予後において関節内変形をきたす可能性が高いのはどれか。

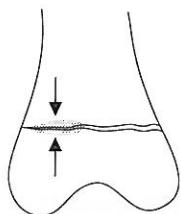
1.



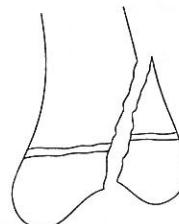
2.



3.



4.



問題 67 高齢者の長期臥床による続発症でないのはどれか。

1. 気 胸
2. 筋萎縮
3. 褥 瘡
4. 尿路感染

問題 68 グルト(Gulut)の骨癒合日数で正しい組合せはどれか。

1. 腓 骨 ————— 5週間
2. 脛 骨 ————— 6週間
3. 下腿両骨 ————— 7週間
4. 大腿骨 ————— 8週間

**問題 69** 胸郭出口症候群の障害部位で正しいのはどれか。

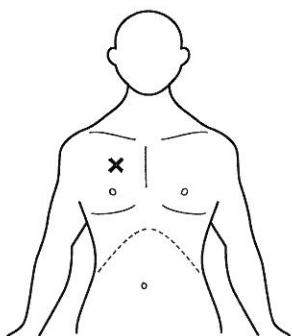
1. 小胸筋と胸郭の間
2. 鎖骨と鎖骨下筋の間
3. 中斜角筋と後斜角筋の間
4. 胸鎖乳突筋と僧帽筋の間

**問題 70** 胸骨骨折で正しいのはどれか。

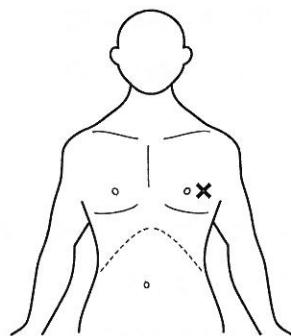
1. 小児に発生頻度が高い。
2. 好発部位は第2肋骨の高さである。
3. 介達外力による発生頻度が高い。
4. 転位が著明でも重篤な合併症はない。

問題 71 ゴルフによる肋骨疲労骨折の好発部位として正しいのはどれか。

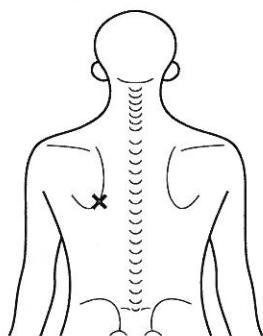
1.



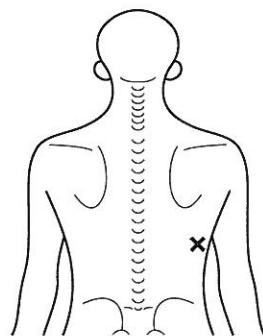
2.



3.



4.



問題 72 胸鎖関節脱臼と肩鎖関節脱臼に共通するのはどれか。

1. 小児に発生頻度が高い。
2. 上方脱臼が最も多い。
3. 直達外力で発生しやすい。
4. 突出変形が残存しやすい。

**問題 73** 関節円板の障害はどれか。2つ選べ。

1. 頸内障
2. バンカート(Bankart)損傷
3. TFC(三角線維軟骨)損傷
4. 弹発股

**問題 74** 正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 直達性脱臼は骨折を伴うものが多い。
2. 先天性脱臼は頸関節に多くみられる。
3. 陳旧性脱臼は脱臼後3か月以上経過したものという。
4. 同側の胸鎖関節と肩鎖関節の同時脱臼は二重脱臼に分類される。

**問題 75** 鎖骨骨折で誤っているのはどれか。

1. 外 $\frac{1}{3}$ 部骨折では、鳥口鎖骨韌帯損傷の有無が予後を左右する。
2. 早期に120度までの肩関節外転運動を行う。
3. 青壮年の骨折は第3骨片を生じやすい。
4. 合併症として腕神経叢損傷が挙げられる。

**問題 76** 肩甲骨骨折について正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 体部骨折は直達外力によるものが多い。
2. 体部骨折は横骨折が多い。
3. 上角骨折は前外上方転位をきたす。
4. 下角骨折は上内方転位をきたす。

問題 77 上腕二頭筋長頭腱断裂で正しいのはどれか。

1. 若年スポーツ選手に好発する。
2. 大結節との摩擦によって起こる。
3. 筋腹の膨隆は正常より中枢部にみられる。
4. 日常生活に支障をきたす後遺障害は少ない。

問題 78 脱臼骨折で骨折の整復を優先するのはどれか。

